



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 佐野プレミアム・アウトレットで初の装備品展示



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は12月12日、佐野プレミアム・アウトレット（栃木県佐野市）において、「はたらくるるま展」に参加した。これは自衛隊、警察、消防JAFなどの車両等を展示するイベントであり、栃木県は中央即応連隊の支援を受け、今回初めて参加した。晴天の日曜日ということもあり、当日は多くの来場者で賑わった。会場では軽装甲機動車、偵察用オートバイのほか、全国的にも珍しい輸送防護車の多目的防護衣等の装備品を展示した。栃木県の南西地域での広報イベントは約2年ぶりであり、自衛隊員や装備品に初めて触れる人も多く、興味深そうに見学したり、カメラを構える人の姿が見られた。「栃木県の自衛隊で海外で活躍する部隊があるとは知らなかった」「自衛隊を見ると身が引き締まる」等の声が聞かれた。制服試着コーナーでは多くの家族連れが訪れ、「制服がキラキラしていい」「等こい」「年賀状の写真に使いたい」等の感想があった。子供に「自衛官になりたい」と話す家族の姿も見られた。海上自衛隊のロープ技術を活用した組みひも体験コーナーでは、自衛官から熱心に教わりながら挑戦する参加者の姿が見られた。「自衛官がみんな優しいのでよかった」「この地域でもっと自衛隊のイベントをやってほしい」等の声も聞かれた。



## ラジオで自衛隊の世界を紹介



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は1月13日、CRT栃木放送でラジオ放送中のコーナー「マツイの知らない世界」に出演した。これは番組担当アナウンサーの松井さんが知らないであろう「趣味・仕事・専門職等」の話をゲストに聞いていくというコーナーであり、栃木県自衛官募集相談員からの紹介により出演が決まったものである。放送は「ピシッとした制服姿で、入ってきた瞬間に誰だかわかります。国を守っている方ですよ」というアナウンサーのコメントから始まった。出演した広報室長 中島1海尉は自己紹介の中で、海上自衛隊のパイロットであることを伝えると「飛行機は航空自衛隊だと思っていたが、海上自衛隊で飛行機に乗っているパターンもあるんですね」と驚いた様子だった。「海自は日本の周辺海域を守るために、船や飛行機等で36



5日警戒監視に当たっています」と説明すると「私たちは常に何らかの形で守られているんですね。それを意識して生活できているでしょうか」とアナウンサーがリスナーに問いかける場面もあった。また中島1尉が「訓練は任務を絶対達成させるという気持ちで行っています」と伝えると「状況をリアルにイメージしなければいけないことは難しいですよ。どうしても平和な状態を見てしまいがちですね」と応じていた。コーナーの最後には「仲間が増える嬉しいのでは」というアナウンサーからの問いかけに「今年の4月に入隊できる試験も残っているので、興味のある方は目指して欲しい」とアピールした。栃木地本は「今後もラジオ出演等の機会を設け、自衛隊に対する理解促進と親近感の醸成を図っていく」としている。